

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成29年7月13日 (2017.7.13)

【公開番号】特開2017-94147(P2017-94147A)
【公開日】平成29年6月1日 (2017.6.1)
【年通号数】公開・登録公報2017-020
【出願番号】特願2017-2086(P2017-2086)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月16日 (2017.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
発光演出を行う発光手段と、
前記発光演出の発光量を調整する発光量調整手段と、
前記有利状態に制御されるかを示唆する複数種類のリーチを実行するリーチ実行手段と
を備え、
前記リーチとして、第 1 リーチと、該第 1 リーチから発展する第 2 リーチとを実行可能
であり、
前記発光演出として、前記第 1 リーチの第 1 リーチ発光演出と、前記第 2 リーチの第 2
リーチ発光演出とを実行可能であり、
前記第 2 リーチ発光演出が実行される前の期間に実行される前記第 1 リーチ発光演出の
発光量を基準発光量より小さい発光量に調整すると共に、該第 1 リーチ発光演出における
演出音の音量を基準音量より小さい音量に調整可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

また、予告対象のタイミングまで、複数のランプが順次点灯していく遊技機が知られて
いる（例えば、特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【特許文献 1】特開 2 0 0 0 - 3 5 0 8 3 4 号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

しかしながら、既にランプが点灯している場合、ランプの新たな点灯が目立ち難い。つまり、あるランプを点灯させる時点において、他のランプの点灯によって既に明るかったり、他のランプの点灯が目立ったりしている場合には、新たに点灯させるランプの点灯が目立ち難くなる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明は、上記実情に鑑みなされたものであり、特定の発光演出を目立たせることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

(１)上記目的を達成するため、本発明の一態様である遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、発光演出を行う発光手段と、前記発光演出の発光量を調整する発光量調整手段と、前記有利状態に制御されるかを示唆する複数種類のリーチを実行するリーチ実行手段とを備え、前記リーチとして、第１リーチと、該第１リーチから発展する第２リーチとを実行可能であり、前記発光演出として、前記第１リーチの第１リーチ発光演出と、前記第２リーチの第２リーチ発光演出とを実行可能であり、前記第２リーチ発光演出が実行される前の期間に実行される前記第１リーチ発光演出の発光量を基準発光量より小さい発光量に調整すると共に、該第１リーチ発光演出における演出音の音量を基準音量より小さい音量に調整可能である。このような構成によれば、第２リーチ発光演出の実行開始前の期間において、第１リーチ発光演出の発光量は基準発光量より小さい発光量に調整されるため、第２リーチ発光演出の実行開始時において、第２リーチ発光演出の発光量は第１リーチ発光演出の発光量に比べ相対的に大きくなり、第２リーチ発光演出を該第２リーチ発光演出の実行開始時において目立たせることができる。従って、演出効果を高め遊技興趣を向上させることができる。また、第２リーチ発光演出自体の発光量を増やすことなく第２リーチ発光演出を目立たせることができる。